

政策のための科学

プログラム説明会

京都大学学際融合教育研究推進センター
政策のための科学ユニット

政策のための科学

2020年4月9日・10日

内容

- I. 参加者自己紹介
- II. 政策のための科学ユニット紹介
 1. 政策のための科学とは
 2. 育成する人材像
 3. 参画教員
 4. 履修コース
- III. 政策のための科学プログラム紹介
 1. 講義概要
 2. 受講生からのコメント
 3. 履修方法
- IV. 質疑応答
- V. おわりに

Ⅱ．政策のための科学ユニット紹介

「政策のための科学」設置の背景

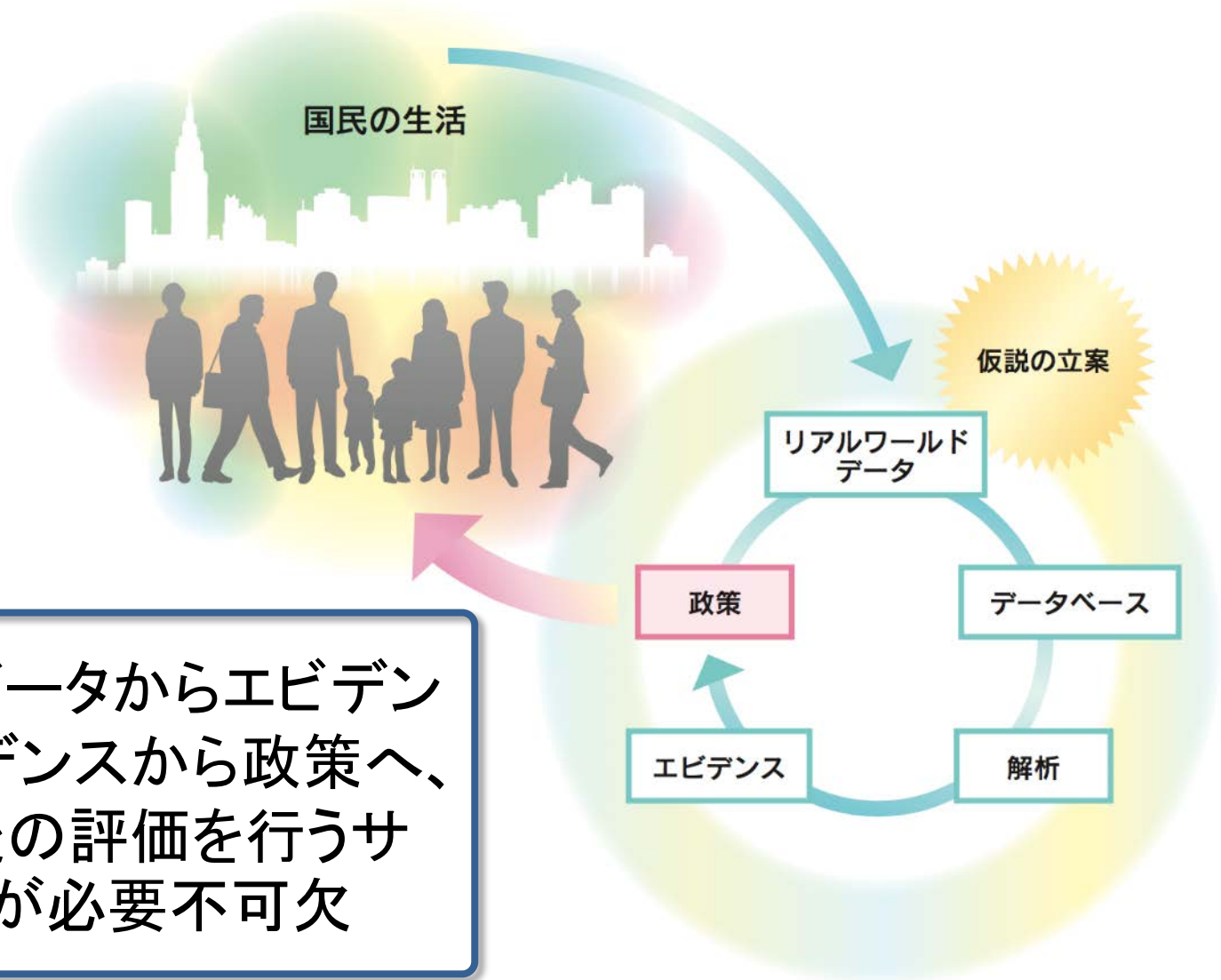
- 第4期科学技術基本計画が掲げる「社会及び公共のための政策」、「社会とともに創り進める政策」としての科学技術イノベーション政策の形成のためには、**科学技術や公共政策に対する社会の期待・懸念・問題認識を把握し、反映させていくことが求められています**
- このような認識のもと、京都大学は、文部科学省より大阪大学と合同での「政策のための科学」領域拠点として今後15年間選定され、2012年2月より、学際融合教育研究推進センターに「政策のための科学ユニット」が設置されました

「政策のための科学」の必要性①

科学技術イノベーション政策の形成のためには、定量的なエビデンスに加え、社会の多様な主体による熟議(対話と熟慮)を含む「**科学技術への公共的関与**(public engagement)」、「**科学技術の倫理的・法的・社会的問題(ELSI)**」研究が生み出すエビデンスが不可欠

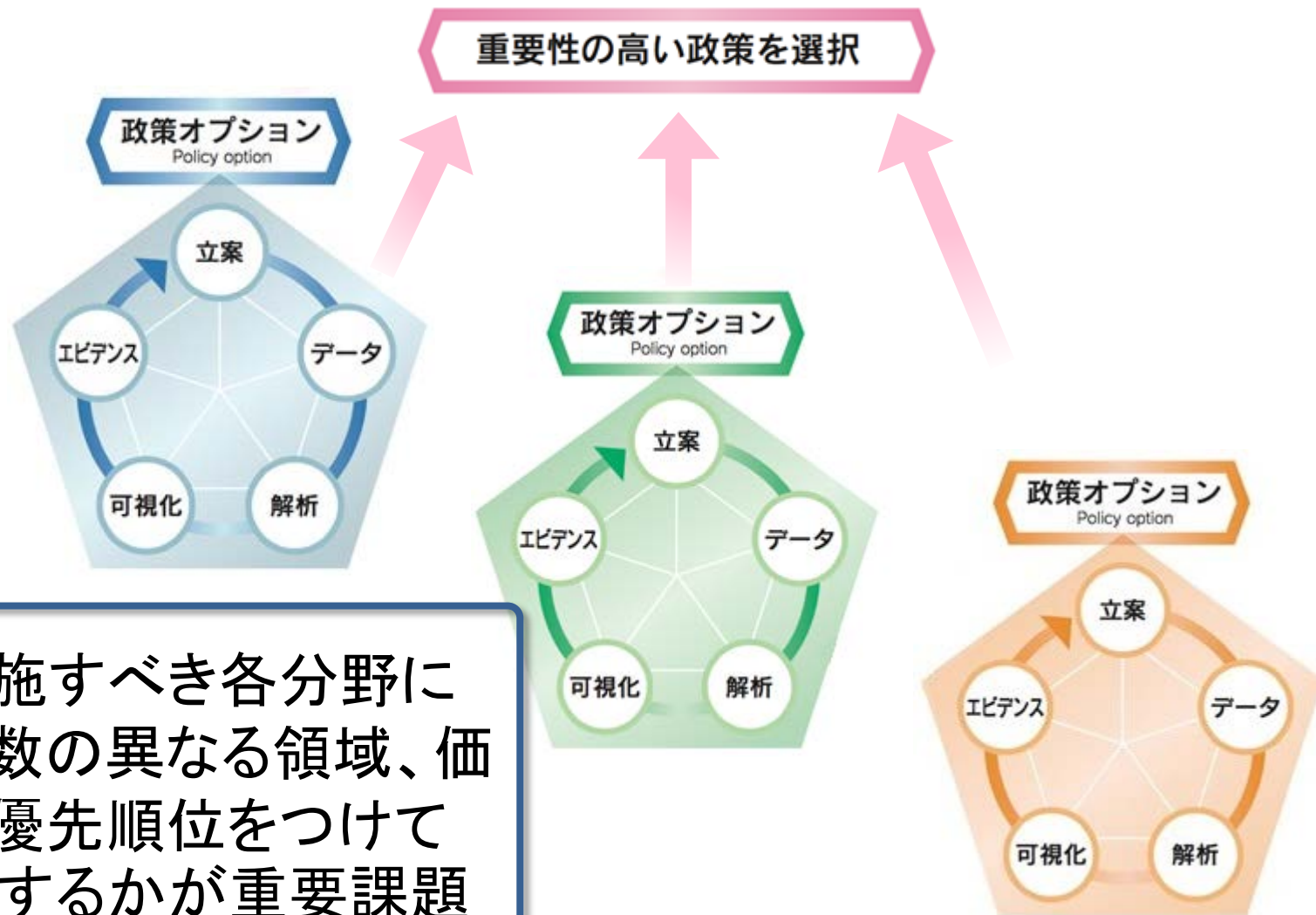


「政策のための科学」の必要性②



実世界のデータからエビデンスへ、エビデンスから政策へ、政策実施後の評価を行うサイクル形成が必要不可欠

「政策のための科学」の必要性③



政策を実施すべき各分野において複数の異なる領域、価値観から優先順位をつけて予算配分するかが重要課題

育成する人材像①

学問諸分野間ならびに学問と政策・社会の間を“つなぐ”ことを通じて政策形成に寄与できる人材の育成を目指しています。



主分野の研究を行いつつ、その分野と他分野・他業種・市民等をつなぐ人材

- 医療評価、公共政策、食品、経済、情報処理、社会行動学・・・等多彩な科目から構成されたカリキュラム
- 大阪大学との連携講義や他大学との合同合宿

★文科省による全国5拠点のうちの1つ

学問諸分野を学ぶ副プログラムです。
京都大学大学院生から希望、選抜を経て参加するものなので、
まず、各分野の指導教員の許可を受けてください。

育成する人材像② 研究者

他分野とつながる研究者



分野を超えた協働がますます盛んになっています。他の専門分野の学生や教員との双方向の議論を通じて、今後の研究に関する**政策形成にも貢献できる研究者**を育成します。

社会とつながる研究者

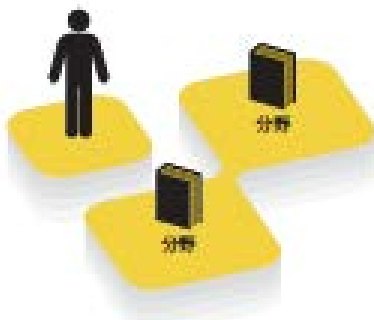


社会における科学技術の在り方が問われています。企業、行政、市民など、多様な社会のステークホルダーとの双方向の議論を通じて、**社会と向き合いながら研究を担う研究者**を育成します。

育成する人材像③ 専門的職業人

分野と分野をつなげる人材

大学の研究戦略担当、シンクタンク職員



異なる分野間をつなぐ専門家が注目されています。研究プロジェクトの企画や進捗管理、関係法令等の精査、会計・財務・設備管理、特許申請等研究成果のまとめ・活用促進など、幅広い業務が含まれます。研究現場や社会を俯瞰し、次の一手を打つ人材を育成します。

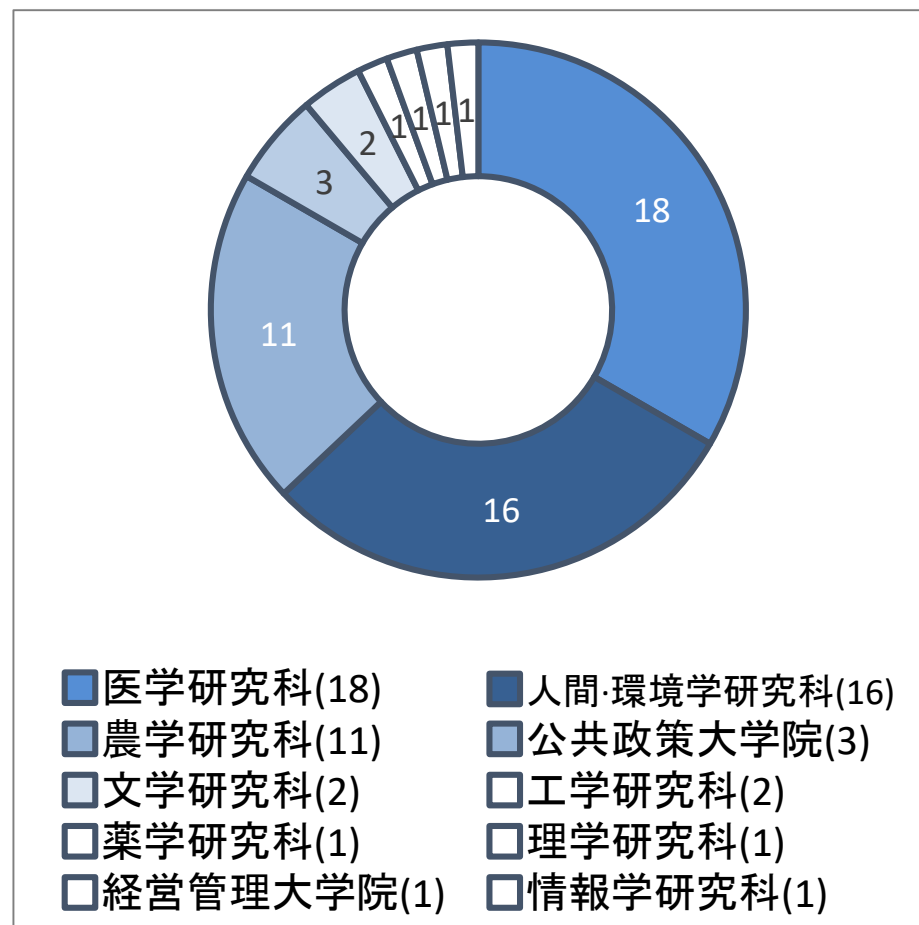
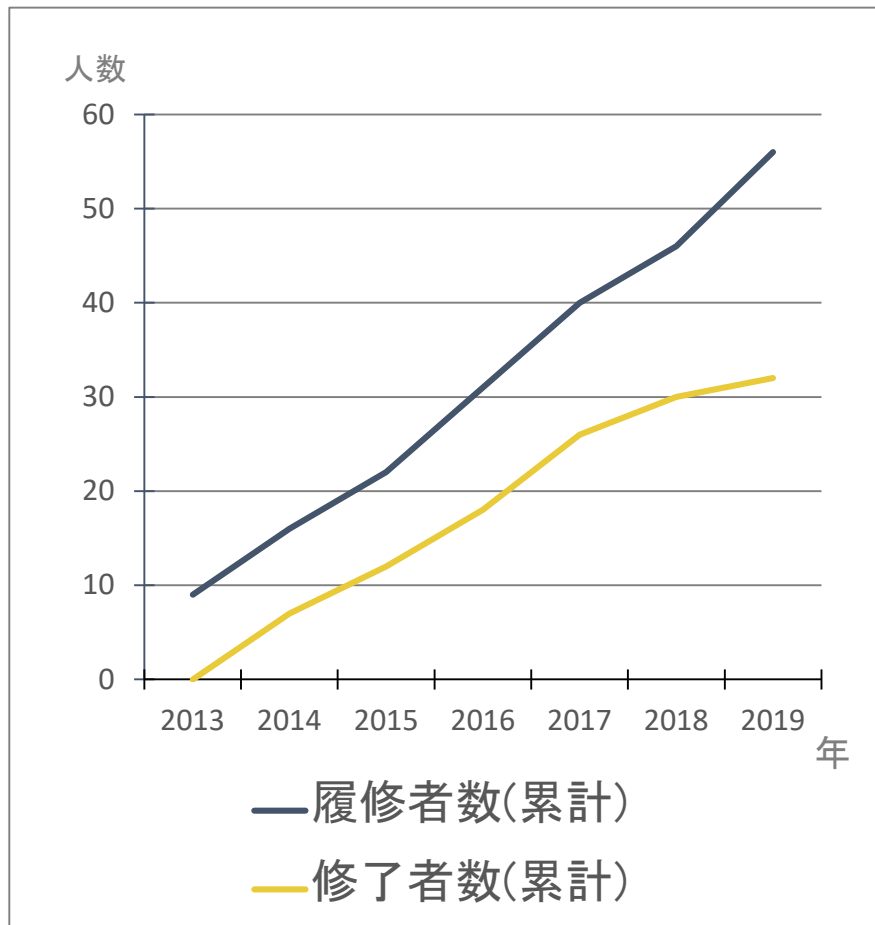
社会と分野をつなげる人材

リスクコミュニケーション人材、政策秘書
国家公務員、地方公務員



科学技術政策の形成において、社会の多様な主体の関与が求められています。異領域(研究者集団・政策・産業・市民社会)の間のコミュニケーションを媒介する実践的な人材を育成します。また、それらの経験に基づき、実際に行政に携わる人材の育成も目指します。

履修生の状況



履修者数及び修了者数の変化

研究科別の履修者数

10部局から56名の学生が履修、32名が修了(2020年3月現在)

教育上の特色と特徴的な取組み

教育上の特色

16部局からの22名の教員によるリレー
講義と研究指導

- 自らの専門性を持ちつつ他分野をつなぐ
- ディスカッション・ワークショップ
主体の講義(毎回30分以上)
- 分野横断的研究に耐え得る科学リテラシーの涵養

特徴的な取組み

関西へ出向の行政官との連携

- 講義の提供
- 公務員志望学生へのアドバイス
- 教育プログラム研究発表会への参加
- 意見交換会の開催

関西へ出向の行政官との勉強会

- 拠点の教育プログラム・研究プロジェクトについて行政官を混じえた意見交換を実施

修了生の進路

民間企業(13名)

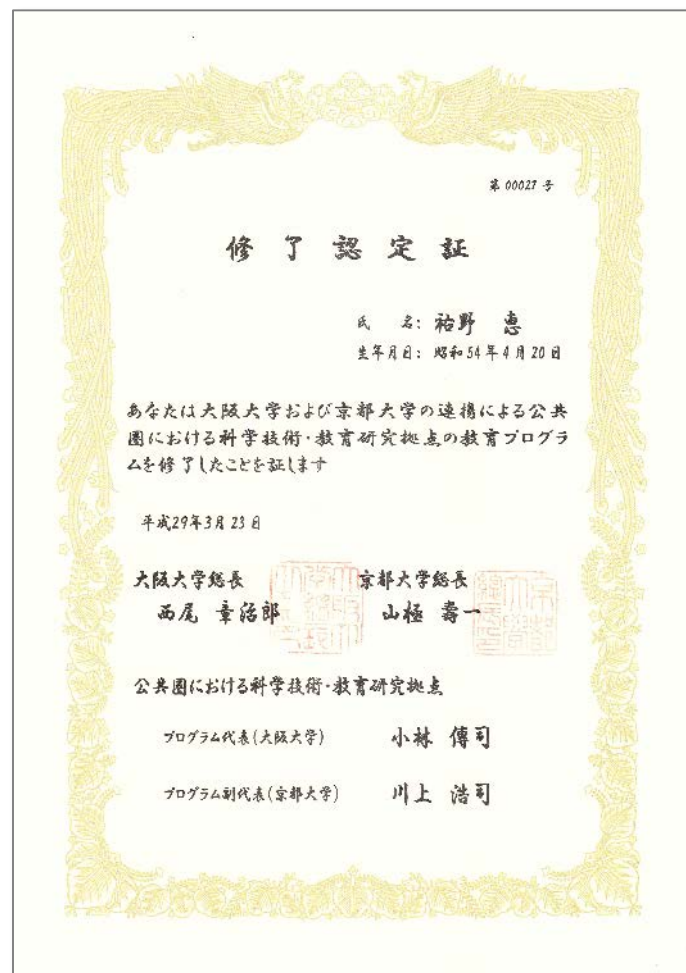
三菱総研、読売新聞、Zeptor Corporation、日本IBM他

国・地方公務員(5名)

通産省、東京都、京都府、神戸市、福岡県

大学・国立研究機関(7名)

京都大学、大阪大学、愛知学泉大学、国立病院機構、日本医療保険大学、日本大学、東京医療保健大学



16分野から多彩な顔ぶれ！

医学研究科

学際融合教育研究推進センター



川上 浩司
教授(ユニット長)



中山 健夫
教授



カール・ベッカー
特任教授



宮野 公樹
准教授



祐野 恵
特定助教



井出 和希
学融合フェロー

学術情報 メディアセンター

経営管理大学院

経済学 研究科

経済研究所 工学研究科



小山田 耕二
教授(副ユニット長)



末松 千尋
教授



吉田 恭
教授



依田 高典
教授



関根 仁博
准教授



富田 直秀
教授

16分野から多彩な顔ぶれ！

こころの未来
研究センター



広井良典
教授

公共政策大学院



岩下直行
教授

情報学
研究科



大手 信人
教授

人間・環境学
研究科



佐野 亘
教授

農学研究科



伊藤順一
教授

文学研究科



伊勢田 哲治
准教授

iPS細胞研究所



田淵敬一
准教授

化学研究所 理学研究科



荒川裕司
特命講師



二木 史朗
教授



市川 正敏
講師

政策分析に必要な知識を
各界の第一人者から習得

興味・関心に応じた2つのコース

学際プログラム履修コース

政策知を習得

研究プロジェクト修了コース

しっかり政策分析

修了認定	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目(2単位)を含む8単位を取得 	<ul style="list-style-type: none"> 研究指導を受け、論文を執筆 必修科目(6単位)を含む14単位を取得
受講条件	志望動機の提出	志望動機の提出
願書提出	4月・9月	4月・9月
履修期間	1～2年	1年半～2年
特徴	多分野の講師陣からなる、リレー講義(現代社会と科学技術B)を中心としたコースワークで、政策知を習得	政策知の習得にくわえて、研究プロジェクトにより、政策分析について理解を深めるとともに、研究論文を執筆
修了証	ユニット長による認定証	京大・阪大総長連名による認定証

学際プログラム履修コース

- 様々な分野の講師陣からなる、リレー講義(現代社会と科学技術B)を中心としたコースワークで、政策分析に必要な学際的知見を身に着けることを目指す
- 修了要件(必修:2単位):入門必修科目『現代社会と科学技術B』を受講し、計8単位(うち必修2単位)を取得すること

科目(科目カテゴリー)		単位数
入門必修科目	現代社会と科学技術B	2単位
必修科目、選択科目 I・II	いずれかのカテゴリーから受講	6単位以上
合計		8単位以上

- コースワークのモデル

科目(科目カテゴリー)		単位数
入門必修科目	現代社会と科学技術B	2単位
選択科目 I	現代社会と科学技術A	1単位
選択科目 I	科学技術イノベーション政策特別演習	1単位
選択科目 I	科学技術イノベーション政策総合演習 (サマーキャンプ)	2単位
選択科目 I・II よりいずれか1科目		2単位
合計		8単位

研究プロジェクト修了コース

- 学際プログラム履修コースの内容にくわえて、研究プロジェクトを進めることで、政策分析についてより深く理解するとともに、研究論文の執筆を目指す
- 大阪大学・京都大学の学長連名による修了証を授与
- 修了要件(必修:6単位): 研究指導を受け、計14単位(うち必修6単位)を取得すること

科目(科目カテゴリー)		単位数
入門必修科目	現代社会と科学技術B	2単位
必修科目	科学技術コミュニケーション演習	2単位
連携必修科目	研究プロジェクト	2単位
選択科目 I・II	2カテゴリーから最低1科目ずつ受講が必要	8単位以上
合計		14単位以上

- 研究プロジェクトについては、専門職学位過程または博士課程における研究に関連しても構わない。指導は本プログラム担当教員が行う

Ⅲ. 政策のための科学プログラム紹介

政策のための科学講義 一覽①

区分	科目名	期	主担当教員(研究科)	単位	
入門必修科目	現代社会と科学技術B	後期	川上教授ら(医学研究科)	2	
必修科目	科学技術コミュニケーション演習	通年	川上教授ら(医学研究科)	2	
連携必修科目	研究プロジェクト	通年	川上教授ら(医学研究科)	2	
選択科目(8単位以上)	選択科目群 I 基軸科目群(1科目以上選択)	現代社会と科学技術A	前期	川上教授ら(医学研究科)	2
		科学技術イノベーション政策特別演習	集中	川上教授ら(医学研究科)	1
		科学技術イノベーション政策総合演習	集中	川上教授ら(医学研究科)	2
		科学技術・イノベーション政策概論	前期	関根准教授(経済研究所)	2
		科学技術・イノベーションと大学	後期	関根准教授(経済研究所)	2
		プログラミング演習(Excel VBA)	前期	小山田教授(学術情報メディアセンター)	2
		経済原論 I (応用ミクロ経済学)	前期	伊藤教授(農学研究科)	2
		疫学 I (疫学入門)	前期	中山教授(医学研究科)	1
		医薬政策・行政	後期	川上教授(医学研究科)	1
		問題解決思考	後期	末松教授(経営管理大学院)	2
		公共政策論 I	後期	佐野教授(人間・環境学研究科)	2
		科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング	後期	伊勢田准教授(文学研究科)	2

政策のための科学講義 一覽②

区分	科目名	期	主担当教員(研究科)	単位
選択科目(8単位以上) 基軸科目群(1科目以上選択) 選択科目Ⅱ	ビッグデータ分析による問題解決実践	前期	小山田教授(学術情報メディアセンター)	2
	政策のための研究方法論	前期	ベッカー教授(政策のための科学ユニット)	2
	文献評価法	前期	中山教授(医学研究科)	1
	技術者倫理と技術経営	前期	松原教授ら(工学研究所)	2
	情報社会論	前期	大手教授ら(情報学研究科)	2
	可視化シミュレーション学	後期	小山田教授(学術情報メディアセンター)	2
	医薬品の開発と評価	後期	川上教授(医学研究科)	1
	応用経済学	後期	依田教授(経済学研究科)	2
	医療政策のELSI	後期	ベッカー教授(政策のための科学ユニット)	2
	健康情報学 I	後期	中山教授(医学研究科)	2
	共生社会環境論演習3B	後期	佐野教授(人間環境学研究科)	2
	現代社会論演習 I A・I B	前・後	広井教授(こころの未来研究センター)	2
	FinTech概論	前期	岩下教授(公共政策大学院)	2
	まちづくりとまち経営	後期	吉田教授(経営管理大学院)	2

講義① 現代社会と科学技術A

回	月日	講義タイトル	講義担当者(研究科)
第1回	5/14	大学における学問とは？分野融合・越境のダイナミクス	宮野准教授(学際融合教育研究推進センター)
第2回	5/21	科学的方法について	小山田教授(学術情報メディアセンター)
第3回	5/28	現代社会の問題と政策のための科学的考え方	ベッカー教授(政策のための科学ユニット)
第4回	6/4	社会と科学の関わり方	田渕准教授(iPS細胞研究所)
第5・6回	6/20	現場から学ぶ政策のための科学・課題発表会	参画教員
第7回	6/25	科学技術と大学の役割	関根准教授(経済研究所)
第8回	7/2	高騰する薬剤費と医療保健制度	荒川講師(iPS細胞研究所)
第9回	7/9	持続可能性と人口減少社会のデザイン	広井教授(こころの未来研究センター)
第10回	7/16	トランザクション・コストと経済政策	末松教授(経営管理大学院)
第11回	7/30	研究プロジェクト中間発表	参画教員

※ 本プログラムの参加者のみ履修可能

※ 第5回・6回(6/20):土曜日実施(14:45~18:00)

講義② 現代社会と科学技術B

※ 必修科目

※ 本プログラムの参加者のみ履修可能

回	月日	講義タイトル	講義担当者(研究科)
第1回	10/1	価値の対立と合意形成	佐野教授(人間・環境学研究科)
第2回	10/8	責任ある研究・イノベーションとは何か	平川教授(大阪大学)
第3回	10/15	研究プロジェクト中間発表会	参画教員
第4回	10/22	クリティカルシンキングの観点からみた科学技術と社会	伊勢田准教授(文学研究科)
第5回	10/29	健康福祉政策と情報の利活用	川上教授(医学研究科)
第6回	11/5	データ可視化と政策立案	小山田教授(学術情報メディアセンター)
第7回	11/12	ビットコインにおける非中央集権の理想と現実	岩下教授(公共政策大学院)

講義② 現代社会と科学技術入門(2)

回	月日	講義タイトル	講義担当者(研究科)
第8回	11/19	まちづくり・地域づくりとソーシャルキャピタル	吉田教授(経営管理大学院)
第9回	11/26	日本型直接支払い制度の政策評価とその方法	伊藤教授(農学研究科)
第10回	12/3	森林の生態系サービスと政策	大手教授(情報学研究科)
第11回	12/10	技術の質の評価	富田教授(工学研究科)
第12回	12/17	医療費の増加と医療医術評価	後藤准教授(慶応義塾大学)
第13回	12/24	疫学とゲノム科学から社会基盤を考える	中山教授(医学研究科)
第14回	1/7	移植医療の社会的価値	瓜生原准教授(同志社大学)
第15回	1/14	振り返りワークショップ	宮野准教授(学際融合教育研究推進センター)

講義③ 科学技術コミュニケーション演習

➤ 目的

- 「政策のための科学」プログラムにおける研究プロジェクトを進めるうえで必要となる、問いの立て方、仮説検証に関する方法論、プレゼンテーションスキルの習得
- ディスカッションを通じた、研究に対する批判的考察能力の涵養

➤ 内容

前期	第1回	オリエンテーション・講義概要
	第2回～第3回	問いの立て方ー議題検討
	第4回～第7回	先行研究の収集方法、分析法、レビュー
後期	第8回～第11回	科学的政策分析の手法
	第12回～第15回	効果的なプレゼンテーション術

- ※ 講義の開講曜日・時限については、受講生と相談のうえ決定します
 教室については、開講曜日・時限の決定後に通知します

講義④ 科学技術イノベーション政策総合演習

- 日程: 2020年9月17日(木)～9月19日(土)
 - 場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京)
 - 目的: 当該分野の先端的な知見を得るとともに、様々な視点から検討する。問題分析や政策提言等のグループワークを通じて、得られた知識の応用力を高めるとともに、各拠点(政策大学院, 東大, 一橋大, 九州大)の学生間の知的交流を促進する。
 - 内容:
 1. 「科学技術イノベーションと産業化: 政策・規制・安全保障の視点から」と題し、科学技術イノベーションをある地域において産業として実現するための政策に焦点を当てる予定である。
 2. 講演と討議(海外研究者, 行政機関担当者, 関係機関実務者, 政治家等)
 3. 学生による研究・活動計画の発表と討議
- ※ 8月8日に阪大と事前WSを開催(阪大豊中キャンパス)

講義⑤ 研究プロジェクト(1)

- 目的: 公共的視点から科学技術と政策や社会とをつなぐ活動や成果物の作成を行うことにより, 自らの専攻分野を生かしつつ, プログラムで学んだ知識やスキルを活用する能力を獲得する
- 内容: 科学技術イノベーション政策に関連する具体的なトピックと方法論を用いて, 「政策のための科学」に関連する個人研究, もしくは共同研究のプロジェクトを実施し, **小論文・研究レポート(日英可)を作成**する。それぞれの研究テーマや進捗に合わせ, プログラム関連教員による個別指導を中心に進める(内容に関しては、各自の専門の学位論文に関連したもので可)
- **プログラム2年目**に履修すること
- 進捗報告・京大・阪大の合同発表会日程

日時	対象	内容
6月20日(土)	M1	課題発表
7月30日(木)	M1・2	中間報告会
10月15日(木)	M1・2	中間報告会
12月12日(土)	M2(M1の聴講可)	京大・阪大合同発表会

講義⑤ 研究プロジェクト(2)

➤ 修了生の研究テーマの一例

1期生

- 外科領域における医療技術評価: 社会の理解のために
- 可視化情報学会における会員満足度の因果関係分析

2期生

- 診療報酬請求情報ナショナルデータベースの制度上の課題と展望:
新規経口抗凝固薬薬剤研究を事例に
- 食中毒リスクコミュニケーションにおける確率的数量情報の認知に関する研究

3期生

- 日本におけるペルフルオロオクタン酸の自主規制に影響を与えた要因と今後の課題
- 地方レベルの議員の行動分析: 議員研修の視座から

4期生

- 新聞の社説にみる環境政策のパラダイムの変化: 韓国の全国紙の社説を対象に
- 事前指示書作成支援の通知時期および方法に関する質問紙調査研究:
健康保険証発行に併せた一斉通知の実現可能性を探る

5期生

- サイエンス・コミュニケーションの改善に資するサイエンスカフェの戦略の検討
- 塩酸リトドリンの早産予防効果: レセプトデータベースを用いた検

6期生

- 京都市バス路線網の経路変更の評価と、路線網最適化手法の提案
- 農産物輸出における行政の役割と課題

講義⑥ 研究の進め方

- 社会課題の解決に向けて、科学的方法に基づいた**仮説検証型の研究の能力**が必要
- これまでの自分の分野での研究方法が、必ずしも他分野で通用するとは限らない
- 科学的、分野横断的な研究の基礎能力を学ぶ機会として以下の授業を開講

開講期	曜日	講義タイトル	担当者(研究科)
前期	火・5限	プログラミング演習 (EXCEL VBA)	小山田教授 (学術情報メディアセンター)
前期	水・3限	政策のための研究方法論	ベッカー教授 (政策のための科学ユニット)
後期	火・4限	可視化シミュレーション学	小山田教授 (学術情報メディアセンター)
通年	不定	科学技術コミュニケーション演習	ベッカー教授 (政策のための科学ユニット)

プログラムの活動風景

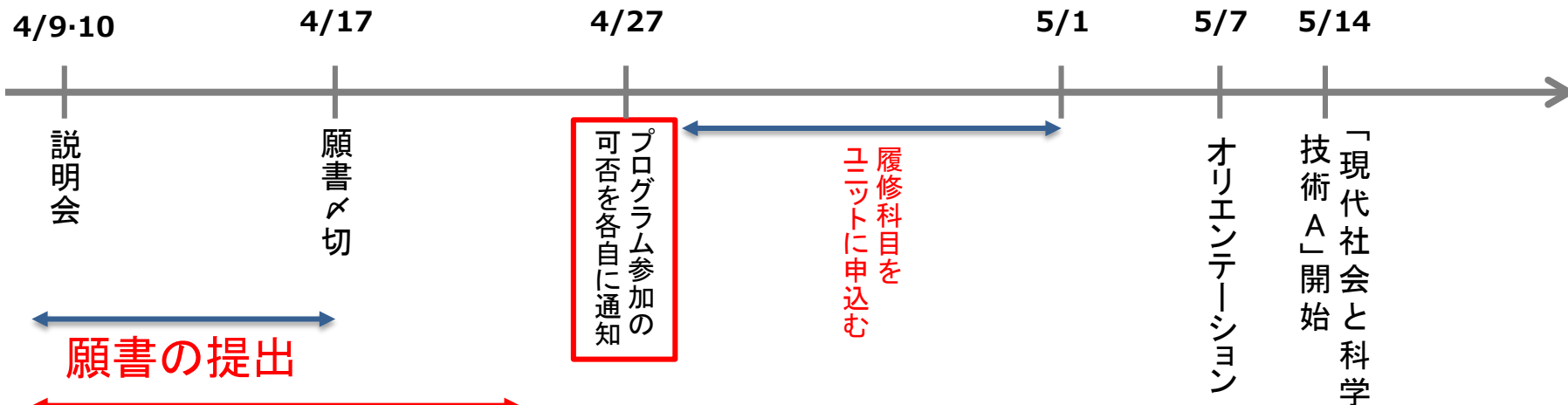


プログラム履修生のネットワーク

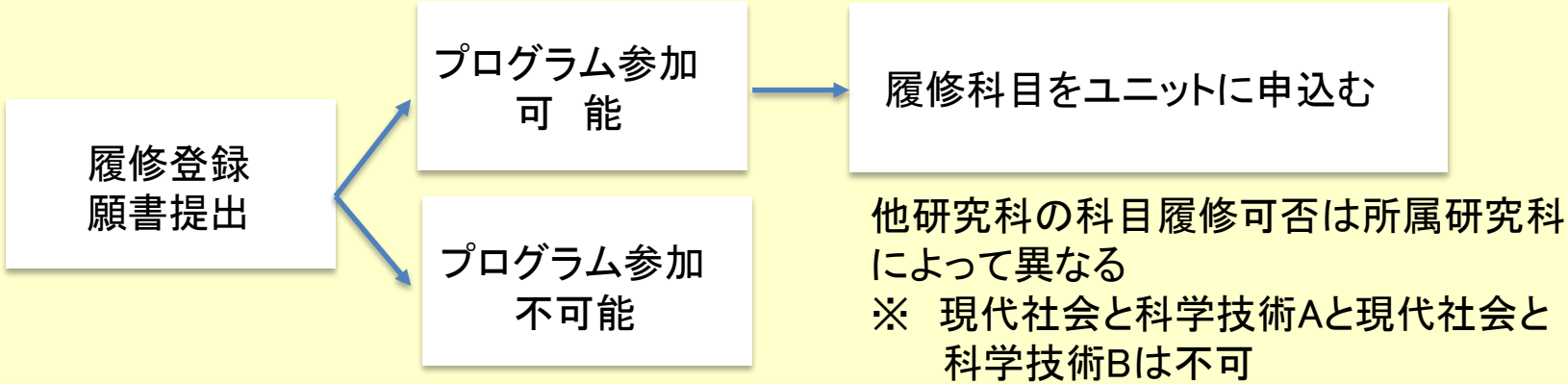


Facebookの活用
親睦会の開催

プログラム参加申し込みのプロセス



他研究科の科目は早目の登録を！



前期開講科目一覧

	月	火	水	木	金
1				現代社会と科学技術A 【1】 必修	
2		科学技術イノベーション政策概論【2】	情報社会論【2】	FinTech概論【2】	
3			政策のための研究方法論【2】 経済原論 I (応用ミクロ経済学)【2】(2年次推奨)	技術倫理と技術経営【2】	疫学I(疫学入門)(前期前半)【1】
4	文献評価法(前期後半)【1】		科学技術コミュニケーション演習【2】 必修 [開講時限は未定]		疫学I(疫学入門)(前期前半)【1】
5		プログラミング演習 (Excel VBA)【2】 現代社会論演習 I A【2】		ビッグデータ分析による問題解決実践【2】	

- 本プログラム参加の可否判明は4月末であるが、履修を希望する科目を4月より参加することを推奨
- 「現代社会と科学技術A」は、本プログラム履修生のみ受講可能

後期開講科目一覧

	月	火	水	木	金
1					
2		科学技術・イノベーションと大学【2】	医薬政策・行政(後期前半)【1】	まちづくりとまち経営【2】	健康情報学 I 【2】
			医薬品の開発と評価(後期後半)【1】	科学技術と社会に関わるクリティカルシンキング【2】	
3			応用経済学【2】	科学技術コミュニケーション演習【2】 必修 [開講時限は未定]	公共政策論【2】
4		可視化シミュレーション学【2】	医療政策のELSI【2】	現代社会と科学技術B【2】必修	
		問題解決思考[隔週5限まで]【2】			
5		共生社会環境論演習3B【2】			
		現代社会論演習 I B【2】			

履修登録の一例

履修生の所属研究科	履修希望科目 (区分)	履修希望科目の 主担当	履修申込方法
医学研究科	現代社会と科学技術 入門(必修)	医学研究科	各研究科の所定の手続き [例]医学研究科:KULASISで登録 (期間等は各研究科の事務宛て要問合せ)
工学研究科	可視化シミュレーション 学(選択)	工学研究科	
農学研究科	現代社会と科学技術 入門(必修)	医学研究科	開講研究科への聴講手続きが必要 所属研究科の所定の「他研究科聴講願」を 所属研究科の事務に提出、または KULASISにて登録 締切日が各科で異なるので留意 各研究科の事務に問合せること!
人間・環境学 研究科	京都学のための科学 (選択)	学術情報 メディアセンター (全学共通科目)	

プログラム参加申し込み方法

1. 願書入手

以下のURLからダウンロードしてください。

<http://www.stips.kyoto-u.ac.jp/submission>

2. 願書を提出

必要事項、「本プログラムへの志望動機、および将来のキャリアパスへの展望」を記入して、以下のURLからアップロードしてください。

<http://www.stips.kyoto-u.ac.jp/submission-upload>

締切り 2018年4月17日(金)正午12:00

3. 参加の可否

4月27日(月)までにプログラム参加の可否をお知らせ致します。

※ プログラム参加希望者が多数の場合は、面接を実施する可能性があります(後日連絡)

大阪大学カリキュラム 一例(1)

科目カテゴリー	開講部局(課程)	授業科目名	単位	学期
選択科目(8単位以上) (1科目以上選択) 選択科目1 基軸科目群	Coデザインセンター(院)	ファシリテーション入門	1	春
	Coデザインセンター(院)	科学技術コミュニケーション入門A	1	秋
	Coデザインセンター(院)	科学技術コミュニケーション入門B	1	夏(豊中)
	Coデザインセンター(院)	科学技術コミュニケーション入門B	1	冬(吹田)
	Coデザインセンター(院)	科学史・科学哲学入門	1	夏
	Coデザインセンター(院)	科学技術社会論入門	1	春
	Coデザインセンター(院)	科学技術と公共政策A	1	秋
	Coデザインセンター(院)	科学技術と公共政策B	1	冬
	Coデザインセンター(院)	訪問術A(質的研究のデザインA)	2	春
	人間科学研究科(博士前期)	フィールド調査法特講	2	春～夏
	人間科学研究科(博士前期)	社会における科学技術特定演習	2	秋～冬
	工学研究科(博士前期)	サステナビリティ評価・技術論	2	春～夏
	基礎工学研究科(博士前期))	科学技術移転論	2	秋～冬

大阪大学カリキュラム 一例(2)

科目カテゴリー	開講部局(課程)	授業科目名	単位	学期
選択科目(8単位以上) 選択科目ロイシユール科目群 (1科目以上選択)	Coデザインセンター(院)	特別講義A(Effectively communicating Your Science & Research)	1	夏
	Coデザインセンター(院)	特別講義B(Climate Change in Asia Pacific – Science and Solution)	1	秋～冬
	Coデザインセンター(院)	特別講義(Effectively Communicating Your Science & Research)	2	春
	Coデザインセンター(院)	メディアリテラシー	2	集中(冬)
	Coデザインセンター(院)	COデザイン講義(インターネット技術と法規制)	2	秋～冬
	法学研究科(博士前期)	総合演習(生命倫理と法)	2	秋～冬
	法学研究科(博士後期)	特定研究(生命倫理と法)	2	秋～冬
	医学系研究科(修士)	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	2	集中(夏)
	工学研究科(博士前期)	特定研究(生命倫理と法)	2	秋～冬
	工学研究科(博士前期)	ライフサイエンスの倫理と公共政策学	2	集中(夏)
	基礎工学研究科(博士前期)	ナノテクノロジー社会受容特論A	2	春～夏
	国際公共政策研究科(博士前期)	特殊講義(開発と環境)	2	秋～冬
	国際公共政策研究科(博士後期)	特殊研究(環境法)	2	秋～冬

IV. 質疑応答

お問い合わせ先

政策のための科学ユニット

特定助教：祐野 恵

〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町

TEL: 075-753-4442

E-mail: yuno.megumi.8z@kyoto-u.ac.jp

HPで最新情報を公開



The screenshot shows the homepage of the STIPS website. At the top, it reads '京都大学 学際融合教育研究推進センター 政策のための科学ユニット'. A search bar is located on the right. A left sidebar contains navigation links: HOME, 概要, カリキュラム, 参画教員, 研究プロジェクト, キャリアパス・就職, 受講方法, and 関連リンク. The main content area features a large banner image of students working at a computer, with a yellow circular callout that says 'Curriculum' and 'カリキュラム' with a right-pointing arrow. Below the banner, there are two news items with dates and titles, each with a '一覧をみる' (View all) button. At the bottom, there is a footer with the text 'Copyright 2019. All right reserved.'

京都大学 学際融合教育研究推進センター
政策のための科学ユニット

HOME
概要
カリキュラム
参画教員
研究プロジェクト
キャリアパス・就職
受講方法
関連リンク

Curriculum
カリキュラム
研究を政策へ
コース概要・大学間交流・シラバス
→

2016/03/30
平成28年度受講生募集 説明会のお知らせ (4月8日、12日開催)

2018/04/02
【4月10日、11日開催】平成30年度受講生募集説明会のお知らせ

一覧をみる 一覧をみる

www.stips.kyoto-u.ac.jp

Copyright 2019. All right reserved.

V. おわりに